

報道関係者各位

2024年4月3日  
株式会社ガイアックス

# ガイアックス、東京都の不登校の児童や生徒支援の バーチャル・ラーニング・プラットフォームにプログラム提供 ～ainiの2万件の体験と、aini school 児童・生徒の声を活用～

1.6万人のホストと2万件の体験を擁するプラットフォーム「aini」と、オンライン・フリースクール「aini school 小・中・中部」を運営する株式会社ガイアックス(本社:東京都千代田区、代表執行役社長:上田 祐司、証券コード:3775、以下 ガイアックス)は、2023年度の東京都のオンラインの仮想空間(メタバース)を活用して居場所や学びの場バーチャル・ラーニング・プラットフォーム(VLP)にて、計6回(3講座・各2回)のプログラムの企画及び運営したことをお知らせします。なお、本プログラム開催は、東京都の委託を受けたVLPの事業プロモーターのデロイト トーマツ グループと連携し、実施したものととなります。



タレントのみぞん、博物館、  
大学研究員によるオンライン教室



aini school 等で活躍されている多数のホストから選出された講師や企画

## ■ メタバースを活用した、不登校児童・生徒、日本語学習児童・生徒への支援

東京都内の不登校の児童や生徒は10年連続で増加し、10年間で3倍超の2万6千人超(2022年度)(※1)となっています。また、東京都の公立学校では、日本語の指導が必要な児童・生徒が約5千人、不登校の児童・生徒が約2万2千人存在します(2021年度)。

東京都では、不登校や教育支援センター（適応指導教室）等への参加が断続的になっている児童・生徒及び日本語指導が必要な児童・生徒に対して、オンライン上の仮想空間を活用した、新たな居場所や学びの場を2023年9月より提供を開始されました。仮想空間を活用することにより、不登校や日本語指導が必要な児童・生徒への支援等に携わる人的リソースの効率的な運用が可能です。

2023年度（令和5年度）は、8自治体（新宿区、墨田区、渋谷区、中野区、杉並区、八王子市、狛江市、多摩市）及び教育庁地域教育支援部生涯学習課所管の「学びのセーフティネット」（都内4か所）を対象にVLPが提供されています。児童や生徒がメタバース（仮想空間）でアバター（分身）となって学習したり交流したりする場となっています。（詳細および画像出典：<https://vlp.metro.tokyo.lg.jp/>）

※1「令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」東京都教育委員会  
[https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/press/press\\_release/2023/release20231004\\_01.html](https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/press/press_release/2023/release20231004_01.html)



## ■ 2万件の体験を提供する aini と、school 小・中等部の知見をプログラムに活かす

2023年度のバーチャル・ラーニング・プラットフォーム(VLP)のプログラムの企画運営においては、aini と school 小・中等部の保有するコンテンツやプログラムや知見を活かしています。

夢中が集まる体験プラットフォーム「aini」は、全国各地で体験を提供するホスト1万6783人が2万2288種類の体験を提供。また、オンラインでのコンテンツは、4,000件を提供しています（2024年2月末時点）。また、それらのホストやコンテンツをもとに提供している「aini school 小・中等部」は、学校に行かない日に通う遊んで学べるオルタナティブスクール（フリースクール）として2023年2月（プレオープン。2023年4月正式オープン）より運営を開始しており、「遊んで学べる」プロジェクト型学習が特徴です。なお、aini school の児童・生徒の希望者全員が aini スクールへの出席を、在籍校の出席として認められ（出席認定され）ています。

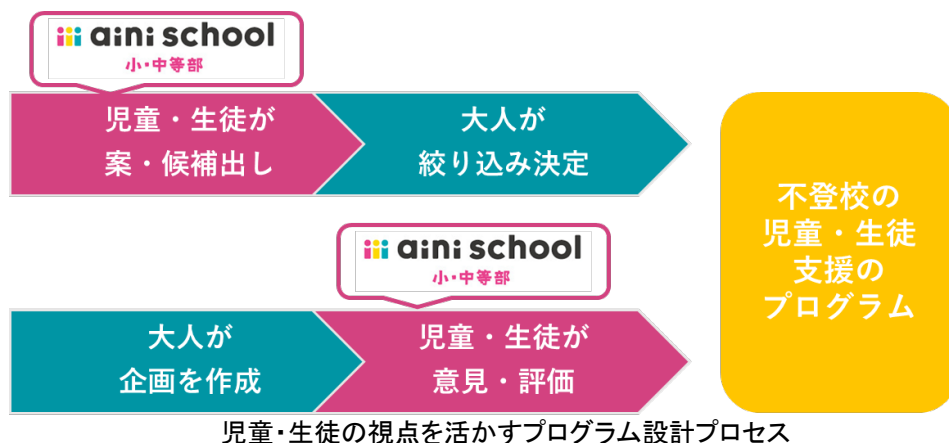


バーチャル・ラーニング・プラットフォーム(VLP)の2023年度コンテンツを企画した aini と aini スクール

## ■ aini school 小・中等部の児童・生徒の声でプログラムをブラッシュアップ

2023年度VLPにて提供されたプログラムは、aini school 小・中等部の児童・生徒が、バーチャル・ラーニング・プラットフォーム(VLP)で提供する内容をブラッシュアップしました。

aini school は「みんなで作る学校」をコンセプトとしており、プログラムやクラス運営において子ども達の声を反映することはもちろん、子ども達による授業も行われています。今回、提供したプログラムは、aini schoolに通う小中学生のディスカッションやレビューをもとに設計しています。



## ■ 不登校児童生徒で、学校以外の選択肢を持っているのは、わずか2%

文部科学省の調査によると小・中学校に通っていない子どもが民間の団体・施設に通う数は約 4,200 人と、不登校の子どもたちの中でもわずか 2%弱となっています<sup>(※2)</sup>。

一方、現在日本の小中学生における長期欠席状態の子どもたちは約 41 万人、不登校の子どもたちは約 29 万人超<sup>(※3)</sup>となります。日本財団の「不登校傾向にある子どもの実態調査」(2018 年)によると、「不登校傾向にある中学生(年間欠席数は 30 日未満)は、全中学生約 325 万人の 10.2%にあたる約 33 万人で、文部科学省が調査した不登校中学生の数の 3.3 倍。約 10 人に 1 人が不登校傾向」です<sup>(※4)</sup>。

※2 文部科学省 平成 27 年度 不登校児童生徒による学校以外の場での学習等に対する支援について

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shotou/107/shiryo/\\_icsFiles/afieldfile/2016/07/19/1373873\\_02.pdf](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/107/shiryo/_icsFiles/afieldfile/2016/07/19/1373873_02.pdf)

※3 文部科学省 フリースクール・不登校に対する取組 [https://www.mext.go.jp/march\\_lion/torikumi\\_futoukou.htm](https://www.mext.go.jp/march_lion/torikumi_futoukou.htm)

※4 日本財団 不登校傾向にある子どもの実態調査(2018 年)

[https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2019/01/new\\_inf\\_201811212\\_01.pdf](https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2019/01/new_inf_201811212_01.pdf)

## ■ aini school 小・中等部 とは

今の学校に疑問や不安を感じる方、既存の枠に囚われない教育を検討している方、公立の小中学校に通う以外の選択肢を考えている方、子どもが自由に伸び伸びと夢中や好きに没頭する選択肢を考えている保護者のお子様、不登校の児童・生徒が通うオンラインのオルタナティブ・スクールです。

aini school 小・中等部は 2023 年 2 月のプレオープンを経て、2023 年 4 月から正式開校し、保護者の満足度 90%(2024 年 2 月末時点。aini school 保護者アンケート結果)と評価いただいています。

2023 年の夏休みなどには、サマースクール(サマープログラム)ではアソビを極めたプロ(aini ホスト約 1.6 万人の中から選ばれた社会で活躍するアソビマイスター)が子どもたちの夏休みを 1.5 倍楽しくする体験授業や、全国の子どもたちが安心安全な空間で繋がり、クラブ活動や探究活動を通して友達になれるメタバース空間(オンライン教室)を平日毎日提供しました。

aini school 小・中等部では 4 月の入学体験・入学説明を実施しています。詳しくは下記をご確認ください。

aini school 小・中等部 <https://helloaini.com/entry/featuring/aini-freeschool/>

## ■ 担当者コメント



賈 帆帆(ジャーファンファン)

株式会社ガイアックス aini 事業責任者

私たち aini は「遊んで学ぶ」というコンセプトを心から大切にしています。今回東京都のバーチャル・ラーニング・プラットフォーム(VLP)に参加する子どもたちに対しても、遊びを通じて学びを深めることができるコンテンツにすることを大事にしてきました。プログラム



設計の過程で、実際に aini school に通う小中学生の意見を取り入れながら設計できたことは、わたし自身とても楽しく、発見の連続でした。これからも、学校に行かないという選択をしたお子さんが、自身の可能性を広げることができる環境を、様々な形で、皆さまと連携しながら作っていきたいと思っています。

## ■ ガイアックスとは:「人と人をつなげる」をミッションに掲げ、社会課題の解決を目指すスタートアップスタジオ※



ガイアックスは、他人のことを自分ごととして捉えられる社会を目指して「Empowering the people to connect ~人と人をつなげる」を1999年の創業時からミッションとしています。ソーシャルメディア活用支援をベースに、2015年からCtoC(個人対個人の取引)のシェアリングエコノミー領域、また、非金融分野でのブロックチェーン技術に取り組み、web3/DAO活用事業に取り組んでいます。

そして、当社独自の個人が主役となるキャリア自律の文化・制度から生まれる起業家輩出を事業(インキュベーション事業)とし、スタートアップ投資並びに自治体・教育機関でのスタートアップ・起業家輩出支援に取り組んでいます。これからも、ガイアックスは個人が輝く社会を目指して取り組んでいきます。

※:スタートアップスタジオとは、同時多発的に複数の企業を立ち上げる組織を指します。

### ■ガイアックスが取り組む教育関連事業

C向け事業の aini また aini school とは異なり、自治体・教育機関向けのアントレプレナーシップ教育をガイアックスは提供しています。起業をテーマにした探究学習プログラム「起業ゼミ」は、これまでに80を超える学校で8,000名以上にプログラムを提供し、2022年には経済産業省の「キャリア教育アワード」にて経済産業大臣賞(最優秀賞)を受賞しています。

▼参考:起業ゼミ web サイト(プログラムで使用している教材を web で公開しています)

<https://gaiax-startup-studio.com/>

### ■株式会社ガイアックス 概要

設立:1999年3月

代表執行役社長:上田 祐司

本社所在地:東京都千代田区平河町 2-5-3 MIDORI.so NAGATACHO

事業内容:ソーシャルメディアサービス事業、シェアリングエコノミー事業、web3/DAO 事業、インキュベーション事業

URL: <https://www.gaiax.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社ガイアックス 広報窓口:高野 TEL:03-6869-0018 MAIL: [hiroshi.takano@gaiax.com](mailto:hiroshi.takano@gaiax.com)



人と人をつなげる

株式会社ガイアックス

代表執行役社長 上田 祐司

東京都千代田区平河町 2-5-3 MIDORI.so NAGATACHO

名証ネクスト市場 コード番号:3775

TEL 03-6869-0018(広報室)